

研究計画書

ゼミ名	阿萬ゼミⅡ	チーム名	CR 花の阿萬
タイトル	恋愛経済学 ～ある男女の暦～		
テーマ群	g) その他		
メンバー	松下克俊 西川大誠 上田誠也 河内章 芝井貴之 初田朋也 畑安由美 岡田萌子 葎本敦美		
研究計画内容	<p>恋愛と経済学ってあてはまるのではないかと考えた私たちは、それを具体的にそしてわかりやすく以下の2点に絞って研究しました。</p> <p>① 大学生である私たちにとって、「恋愛」はとても興味深いテーマです。私たちは、「恋愛」をとっつきにくいイメージである「経済用語」で説明できるか、挑戦してみることにしました。発表の中に登場するシチュエーションは、私たちが考えたものですが、メンバーの実体験に基づいたものも入れているので、大学生のリアルを描いたものになっており、身近に感じていただけるのではないのでしょうか？</p> <p>② 「恋愛」というものは人によって異なります。期間が長い人もいれば、短い人もいますし、積極的な人もいれば、そうでない人もいます。様々なパターンが考えられる「恋愛」を経済という観点で分析したカレンダーを作ってみました。このカレンダーでは、1組の男女の恋愛模様を経済学の切り口で解説しています。出会いがあり、交際が始まり、困難があつてその後・・・という恋愛模様を1年間に凝縮して展開させています。例えば、4月に出会い、5月には仲良くなり、6月には恋に落ちる。そして、恋に落ちれば、会えば会うほどもっと会いたくなる。これは、追加的に得られる喜びが増していく「限界効用逓増」という経済用語で説明できます。</p> <p>みなさんの聞いたことのある経済用語、もしくは聞いたことのない経済用語もありますが、それらが面白いように「恋愛」にあてはまっています。</p> <p>恋愛を経済用語で説明できたらカッコよくないですか？！</p>		